

# 第37期長崎県社会教育委員

## 第4回会議

令和5年9月6日(水)

## 第4回会議の内容

多世代・多分野が関わる社会教育の推進

### <委員の主な意見>

- ・社会教育委員として、学校に過大な重荷を背負わせていないか、本当に必要なものは何かを考え、見直すべき。
- ・多世代・多分野の人々や団体が子育てやまちづくりに関わるうえで、必要なものを残し、不要なものをそぎ落とすことで、個人が輝き、そのことによって人がつながる。
- ・地域には、旗振り役は難しくとも、協力には積極的な人材は多い。その方々の得意なこと、好きなことをしてもらうことにより活動の輪が広がる。
- ・子どもを核にすることで、関わる人が増え、人が集まる。
- ・地域をつなぐ地域学校協働活動推進員のような人材が重要。社会教育委員として地域学校協働活動を県内に根付かせていくにはどのようなことをするべきかを考える必要がある。地域にある協議会や会議といった仕組みを整理していくことも私たちの課題。

